

南魚沼市に暮らすしあわせ

移住・定住促進に関する情報や、実際の移住者の声をお届けします

【問合せ】 地方創生推進室 ☎773-6659

南魚沼市の魅力にひかれて、実際に移り住まれた人の声を紹介します。

移住したみなさんの声 (第6回)

あまの ゆうへい
天野裕平さん [三分区 (塩沢)]

今回お話を伺ったのは、東京都から塩沢地域に移住した、スノーボードが大好きで得意な天野さんです。天野さんは、市外から移住された人を中心に組織された「南魚沼市移住推進協議会^{*}」の一員としても活動しています。

Q 移住してきたのはいつですか？

A 平成25年の2月です。来年で丸4年になります。

Q 移住したきっかけはなんですか？

A 小学校3・4年のころから、毎年冬になるとスノーボードをしに遊びに来ていて、よく知っているまちでした。その後、空き時間に大好きなスノーボードができるということから、高校3年生の冬に六日町自動車学校へ合宿免許に来た時に、今の仲間と出会い仲よくなりました。すでに移住している人もいたので、「こういう人もいるのだな」と思い、そのころから徐々にここに住みたいという気持ちが強まりました。



Q 東京での仕事を辞めて移住するには、相当の覚悟や決断があったのでは？

A いろいろと決断をしなければならなかったことがあったのですが、「このまま30歳になったら移住も転職も難しくなる。行くなら今。行って後悔するより、行かないで後悔する方が嫌だ」と思い、移住を決断しました。住む場所も働く場所も決めないでこちらに来たので、今考えると勇気のある決断だったと思います。

Q 実際に南魚沼市で暮らし始めて感じたことは？

A 都会だと、休日や仕事がない日は何かしなければという気持ちになります。出かけなければとか、そわそわ感ではないですけど、焦る気持ちがすごくありました。ここに住んでからは、やることがないなら何もしないで、のんびりすればいいかなと思うようになりました。よく「休みの日に何もしないで終わった」とか聞きますが、うまく表現できませんがそれで気が休まる感覚です。

Q これから南魚沼市で暮らそうと考えている人に、アドバイスをください。

A 移住しても、やはり仕事が生活の中心になると思います。自分の中で、仕事との葛藤が一番大きくなると思います。こちらではスローな生活ができるようなイメージで移住しても、そんなイメージばかりでいると仕事に対して熱が入らなくなり、仕事の力量が伸びなくなる。逆に仕事ばかりに根を詰めていると、移住した意味がなくなってしまう。そのバランスというか、たぶん移住してくる人たちにとっては、そこが一番の課題になると思っています。理想と現実の差があることは考えておく必要があると思います。

Q 天野さんにとって大切なものはなんですか？



A 間違いなく、この地で世話になっている仲間たちです。その人たちがいなかったら、自分はこの地で生活できていません。自分には仲間がいたからこそ、移住することができました。

Q 最後に何かあればお願いします。

A 移住した人も、地元の人が必要とした時には集まってくれると思います。ここに住んでからずっと気になっていたのが、地元の方は移住者や観光者のことを、実際にどこまで必要にしているのかなということを知りたいです。

※南魚沼市
移住推進協議会

南魚沼市にUIJターンで移住してきた人を中心に、11人で構成された組織です。研修会や交流会を通じ、移住しやすい環境整備や移住者からの相談、世話などをするを目的に活動しています。